

主体的な学びにつながる「算数・数学の学習が好きになる授業」をめざして

県HPの「ぎふっこ学び応援サイト」にある「子供の目線に立つ2022」も参考になります。→



児童生徒が、**数学的に「～しようとする姿」**を褒めましょう。



考えが途中で、答えが違っていても、**数学的な見方・考え方を働かせて「何とか解決しよう」としている児童生徒の姿**を見取り、積極的に「何がよいのか」を褒め、次への意欲につなぎましょう。



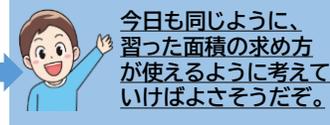
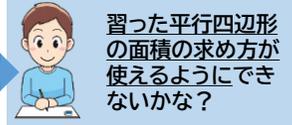
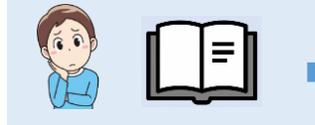
単元を通して意図的・計画的に指導し、資質・能力を育てていきましょう。

例：小学校 第4学年「面積」の学習

第1時(平行四辺形の面積)

第5時(三角形の面積)

第8時(台形の面積)



見取る

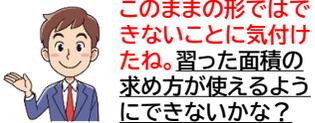
褒める

見取る

褒める

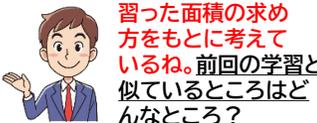
見取る

褒める



このままの形ではできないことに気付けたね。習った面積の求め方が使えるようにできないかな？

促す



習った面積の求め方をもとに考えているね。前回の学習と似ているところはどんなところ？

促す



わけをはっきりと考えたね。これまでもとのつながりも見つけていてすごいね！

単元計画のPoint!

課題解決のための「習ったことで使えるようなこと」を単元計画で明確にすると、褒めるポイントが見えてきます。



1時間の学習過程の中で**数学的な見方・考え方を働かせた学びを「見取り」「促し」「褒め」「共有」**しましょう。

児童生徒が働かせて欲しい「**数学的な見方・考え方**」

褒めるPoint!

着目したい「～しようとしている」子供の姿

数学的な見方

事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉える

- ・数・量・図形に着目している
 - ・数・量・図形で表現している
 - ・数量や図形の関係に着目している
- 等

数学的な考え方

根拠を基に筋道を立てて考える
※中学校は論理的に考える

- ・順序よく考えている
 - ・根拠を明らかにしている
 - ・図・式・言葉を関連付けて考えたり、表現したりしている
- 等

統合的に考える

- ・共通点や相違点を考えている
 - ・課題に対する結論を考えている
 - ・既習の知識及び技能と結び付けている
- 等

発展的に考える

- ・適用範囲を広げている
 - ・条件を変えて考えている
 - ・新たな視点から考えている
- 等

見つけたよさを学級全体にも紹介し、「共有」しましょう。

